

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証【茨城県ひたちなか市】

(単位：円)

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | 事業の実績 | | | | 効果の検証・評価 | | |
|----|-----------------------------|----------------|--|----------|----------|---------------|---------------|------------|--------------------|-----|-------------|------------|---|--|
| | | | | | | | | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | | 一般財源 | |
| 合計 | | | | | | 1,443,539,177 | 1,443,539,177 | 46,860,000 | 1,228,362,000 | 0 | 135,335,000 | 32,982,177 | | |
| 1 | 非デジタル対応情報提供事業 | 広報広聴課 | ①新型コロナウイルス感染症に関する支援情報のチラシを作成し、新聞折込を3回行い広く市民に配布して、支援内容の周知と促進を図る。 ②A:印刷製本費用、B:配布費用 ③市民 | R2.6 | R2.10 | 1,047,024 | 1,047,024 | 0 | 1,047,024 | 0 | 0 | 0 | ○印刷製本費(B4両面・4C×4C) 506,220円 3.05円×52,000枚×1.1=174,460円 (1回発行) 2.9円×52,000枚×1.1=165,880円 ×2回発行=331,760円 ○配布費用(新聞折込) ※印刷数との差分は施設等に設置 3.4円×48,200枚×1.1=180,268円 ×3回配布=540,804円 A+B=1,047,024円 | 支援情報や感染症対策に関する情報を幅広く周知することで、支援の促進と感染拡大防止が図られた。 |
| 2 | 湊線通学定期券延長事業 | 企画調整課 | ①海浜鉄道が利用者に対し学校休校に伴う通学定期券の利用期間を延長することに係る経費に対し補助。 ②学校休校に伴う定期延長分の経費 ③ひたちなか海浜鉄道株式会社 | R2.5 | R3.3 | 1,058,121 | 1,058,121 | 0 | 1,058,121 | 0 | 0 | 0 | 学校休校に伴う定期延長分の経費 108人分1,058,121円 | コロナ感染症拡大による利用期間延長分を補助することで、利用者の負担軽減と事業継続への支援が図られた。 |
| 3 | 地域公共交通利用喚起事業 | 企画調整課 | ①市内の基幹的な地域公共交通利用を喚起するため、1日フリー券の割引販売に対し補助 ②割引分経費 ③ひたちなか海浜鉄道、茨城交通 | R2.9 | R3.1 | 7,999,800 | 7,999,800 | 0 | 7,999,800 | 0 | 0 | 0 | 割引分経費 400円×19,741枚 200円× 517枚 7,999,800円 | コロナ感染症拡大の影響により利用が落ち込んだ公共交通に対し、割引販売への補助をすることで、事業継続への支援が図られた。 |
| 4 | 湊線環境整備事業 | 企画調整課 | ①鉄道利用を喚起するため、駅施設の利用環境を整える ②汲取り式トイレの水洗化、駅前広場への照明設置 環境整備経費 ③ひたちなか海浜鉄道株式会社 | R2.9 | R2.11 | 3,228,481 | 3,228,481 | 0 | 3,228,481 | 0 | 0 | 0 | 汲取り式トイレの水洗化、駅前広場への照明設置 環境整備経費 3,228,481円 | 駅施設の衛生環境等の改善を図ることで、公共交通の利用喚起が図られた。 |
| 5 | 県外在住学生等支援事業(ひたちなか学生エール便) | 企画調整課 | ①帰省を自粛している市内出身で県外在住の大学生等に対して、ひたちなか市の特産品(米、ほしいも等の詰め合わせ)を郵送し、学生等の生活を支援する。 ②特産品の調達費用、消耗品費、配送料 ③県外で生活する市内出身の大学生等 | R2.7 | R3.3 | 2,817,839 | 2,817,839 | 0 | 2,817,839 | 0 | 0 | 0 | 2,817,839円 ・対象者概算:市内出身の県外在住学生 3,000名×リチ率20%=600名 ・特産品の調達費用(925名分) 3,500円×600名=2,098,944円 ・消耗品費(配送用段ボール等) 165,742円 ・配送料 553,153円 | コロナ感染症拡大の影響により、帰省を自粛している大学生等に対し、市の特産品を届けることで、学生生活への支援が図られた。 |
| 6 | ふるさと納税返礼品(モノ・コト)開発及び磨き上げ補助金 | 企画調整課 | ①ふるさと納税返礼品(モノ・コト)の開発及び磨き上げに対する活動・取組を奨励金等で支援し、アフターコロナにおけるふるさと納税の拡大を図る。 ②・返礼品提供(コト)にかかわる環境等の整備 ・新規返礼品(コト)の開発・磨き上げ ・新規返礼品(モノ)の開発・磨き上げ ③市内ふるさと納税返礼品提供事業者 | R2.8 | R3.5 | 811,000 | 811,000 | 0 | 811,000 | 0 | 0 | 0 | ・返礼品提供(コト)にかかわる環境等の整備 ・新規返礼品(コト)の開発・磨き上げ ・新規返礼品(モノ)の開発・磨き上げ | ふるさと納税返礼品の開発等に対する補助により、アフターコロナにおけるふるさと納税の拡大を図ることで、事業継続への支援に繋がった。 |
| 7 | サテライトオフィス設置 | 情報政策課 | ①市役所における分散勤務に向けたネットワーク環境整備 ②LANケーブル、電源設備の整備。6施設開設 ③市庁舎 | R2.5 | R3.3 | 700,772 | 700,772 | 0 | 700,772 | 0 | 0 | 0 | LANケーブル、電源設備の整備。 6施設開設で700,772円。 | サテライトオフィスを整備し、分散勤務の環境整備を行ったことで、市庁舎における感染拡大防止が図られた。 |
| 8 | LGWAN系仮想環境システム導入 | 情報政策課 | ①市役所における分散勤務に向けた、ネットワーク環境整備のためのシステムリース料等 ②機器リース11月-3月、既存ネットワーク機器の設定手数料 ③市庁舎 | R2.9 | R3.3 | 5,617,150 | 5,617,150 | 0 | 5,617,150 | 0 | 0 | 0 | 機器リース11月-3月 4,825,150円 既存ネットワーク機器の設定手数料 792,000円 | ネットワーク環境を整備し、分散勤務の環境整備を行ったことで、市庁舎における感染拡大防止が図られた。 |
| 9 | 公共的空間安全・安心確保事業 | 資産経営課 議会事務局 | ①市庁舎における感染拡大防止のための物品を購入する。 ②感染予防対策に係る費用 ③市庁舎 | R2.4 | R3.3 | 1,674,466 | 1,674,466 | 0 | 1,674,466 | 0 | 0 | 0 | 感染予防対策に係る費用(飛沫対策アクリル板・ビニールシートや手指消毒液の設置、庁舎消毒作業に係る消耗品購入、等) 1,674,466円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、市庁舎における感染拡大防止が図られた。 |
| 10 | 防災活動支援事業 | 生活安全課 | ①災害時の避難所における新型コロナウイルス感染症防止対策として、避難所の衛生体制の強化を図る。 ②消耗品費、備品購入費 ③指定避難所等 | R2.4 | R3.3 | 24,851,951 | 24,851,951 | 0 | 24,851,951 | 0 | 0 | 0 | 消耗品費(簡易間仕切り200個、アルミシート3,000枚、マスク21,600枚、手指消毒液300本、防護服200着、ビニール手袋6,000枚、ゴミ袋6,000枚、保管用コンテナ120個、簡易トイレ12,000枚等) 備品購入費(ワンタッチパーテーション200張、亜塩素酸水生成装置1台、隔離用テント60張、換気用大型扇風機65台、電動噴霧器5台、赤外線体温計60本等) | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、指定避難所等における感染拡大防止が図られた。 |
| 11 | 地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい感染防止対策事業 | 健康推進課 | ①公共施設における感染防止対策のため消毒液等を購入する。 ②消耗品費 ③学校、図書館等 | R2.4 | R3.3 | 891,000 | 891,000 | 0 | 891,000 | 0 | 0 | 0 | ・手指消毒用エタノール 10缶(15kg)×12,000円+税= 132,000円 10缶(17L)×35,000円+税= 385,000円 20本(5L)×12,000円+税= 264,000円 ・キムタオル10箱×10,000円+税=110,000円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、学校や図書館等の公共施設における感染拡大防止が図られた。 |
| 12 | 地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい感染防止対策事業 | 健康推進課 | ①医療機関や介護施設、理美容事業者など、感染予防のための衛生品を要する事業者に対し物資を提供するため、市がマスクや防護服、消毒液等を購入する。 ②消耗品費 ③医療機関、薬局、介護施設、理美容業、保育所、学校、避難所等 | R2.4 | R3.3 | 15,456,760 | 15,456,760 | 0 | 15,456,760 | 0 | 0 | 0 | ・マスク50,000枚×43円+税=2,365,000円 ・マスク50,000枚×38円+税=2,090,000円 ・防護服セット 2,000枚×2,500円+税=5,500,000円 ・フェイスシールド、消毒液、ガウン、N95マスク等 5,501,760円 | コロナ感染症対策に係る物品を購入し、医療機関、介護施設、理美容業者等へ提供することで、感染拡大防止が図られた。 |
| 13 | 電話相談窓口開設事業 | 健康推進課 | ①「ひたちなか市新型コロナウイルス等対策行動計画」に基づき、新型コロナウイルスに関する電話相談窓口を開設し、感染拡大の防止と市民の健康維持、不安解消を図る。 ②電話窓口開設に係る改修費用(修繕料、手数料、備品購入費) ③市民 | R2.5 | R3.3 | 334,730 | 334,730 | 0 | 334,730 | 0 | 0 | 0 | ・内線増設修繕 53,570円 ・応答装置設置修繕 109,780円 ・着信設定変更修繕 4,510円 ・着信先変更修繕 11,770円 ・電話記録装置 95,700円 ・ヘッドセット3台 59,400円 | 電話相談窓口を開設し、感染症に関する情報提供や不安解消を図ることで、感染拡大防止と市民の健康維持に繋がった。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | |
|----|----------------------------------|-------|---|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------------------|-----|------------|---|---|---|
| | | | | | | | 補助対象 事業費 | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | | | 一般財源 |
| 14 | 妊婦に対するマスク配布事業 | 健康推進課 | ①体調管理が特に必要とされる妊婦に対し、新型コロナウイルス感染症による肺炎等の重症化を予防するために使い捨てマスクを配布する。 ②消耗品費、通信運搬費 ③妊婦 | R2.5 | R3.3 | 104,206 | 104,206 | 0 | 104,206 | 0 | 0 | R2年5月現在の妊婦972人及びR3年3月までの妊娠届出見込み1,000人＝合計1,972人に対し、1人10枚を郵送及び面接等窓口で交付 ・マスク 購入費は、No.12で計上 ・個包装用フィルム(100枚入り) 24個 7,840円 ・郵送料 761通 96,366円 | 妊婦に対し使い捨てマスクを配布することで、感染拡大防止と妊婦の健康維持が図られた。 | |
| 15 | 休日夜間診療所における感染拡大防止のための医療体制整備事業 | 健康推進課 | ①休日夜間診療所における感染予防のため、ガウン等の購入及び屋外診察体制整備を行う。 ②消耗品費、工事請負費、備品購入費 ③休日夜間診療所 | R2.5 | R3.3 | 1,364,198 | 1,364,198 | 0 | 1,364,198 | 0 | 0 | ・フェイスシールド400枚 165,000円 ・屋外診療用底設置工事費 1,177,000円 ・非接触型体温計2本×10,090円＋税＝22,198円 | 休日夜間診療所において、感染症対策に係る物品の購入と屋外での診察体制を整備することで、感染拡大防止と診察体制の強化が図られた。 | |
| 16 | 幼児健診の再開に対する感染症予防対策 | 健康推進課 | ①R2年3月から休止していた幼児集団健康診査を再開するにあたり、市民及びスタッフが安全・安心に参加できるよう感染予防対策を講じて実施する。 ②消耗品費、備品購入費、印刷製本費、通信運搬費 ③健康診査対象者等 | R2.7 | R3.3 | 989,459 | 989,459 | 0 | 989,459 | 0 | 0 | ・消毒剤、防護資材等 500,134円 ・非接触型体温計2本 22,440円 ・幼児健診再通知用封筒印刷 43,780円 ・郵送料 423,105円 | コロナ感染症対策に係る物品を整備することで、幼児集団健康診査における感染拡大防止が図られ、検診を再開することができた。 | |
| 17 | 地場農産物応援事業 | 農政課 | ①②一月の売上が前年同月比20%以上減少している農業者に対し、インターネットやFAX等により販売する商品額（郵送料、箱代除く）の20%を補助 ③1農業者上限30万円×5農業者 | R2.6 | R2.12 | 1,309,410 | 1,309,410 | 0 | 804,705 | 0 | 504,705 | 0 | 5農業者 1,309,410円 | コロナ禍により売上が減少した農業者の、インターネットやFAX等による販売促進に繋がりを、事業継続への支援が図られた。 |
| 18 | 地場農産物販路拡大支援事業 | 農政課 | ①販売機会の減少を受けた農業者の新たな販路確保を目的とする ②農業者が取り組むHPの作成・リニューアル経費の1/2を助成 ③1農業者上限20万円×2農業者 | R2.6 | R2.12 | 400,000 | 400,000 | 0 | 200,000 | 0 | 200,000 | 0 | 200,000円×2農業者 | 農業者のデジタル環境が整備され、新たな販路を開拓したことで、事業継続への支援が図られた。 |
| 19 | 地元水産物応援事業 | 水産課 | ①②一月の売上が前年同月比20%以上減少している水産加工業協同組合加盟事業所に対し、インターネットやFAX等により販売する商品価格の20%を補助 ③個別発送分値引助成に係る経費30万円×3加工組合加盟組合員 | R2.6 | R2.12 | 550,776 | 550,776 | 0 | 476,420 | 0 | 74,356 | 0 | 3事業者 550,776円 | コロナ禍により売上が減少した水産加工業者の、インターネットやFAX等による販売促進に繋がりを、事業継続への支援が図られた。 |
| 20 | 魚食普及活動支援事業 | 水産課 | ①売上減の影響を受けている漁業協同組合に対し、商品定価の1/2を補助 ②個別発送分値引助成に係る経費 ③漁業協同組合 | R2.5 | R2.7 | 1,599,468 | 1,599,468 | 0 | 1,599,468 | 0 | 0 | 0 | 個別発送分値引助成に係る経費 1,599,468円 | 値引販売分を助成することで、販売促進につながり、事業継続への支援が図られた。 |
| 21 | 地元水産物販路拡大支援事業 | 水産課 | ①②販売促進に取り組む水産業者が実施するホームページの開設、リニューアルに係る経費の支援 ③HPの作成・リニューアル経費20万円×漁協及び水産加工業協同組合構成員3事業者 | R2.6 | R2.12 | 706,091 | 706,091 | 0 | 606,091 | 0 | 100,000 | 0 | 4事業者 706,091円 | 水産業者のデジタル環境が整備され、販路が拡大されたことで、事業継続への支援が図られた。 |
| 23 | テイクアウト&デリバリー応援補助金 | 商工振興課 | ①新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、売上の減少と業績の悪化が著しい飲食業および宿泊業の市内業者に対して、各店舗がテイクアウトおよびデリバリーで商品を提供することを支援すると共に、感染リスクの軽減を図るために外出の自粛を余儀なくされている市民に対し、安価にテイクアウトおよびデリバリー商品を提供できる環境を構築することで、市内の消費喚起を図りながら、感染拡大のリスクを回避しつつ事業者の経営を支える。 ②③ 1食あたり販売価格の1/2以内でかつ300円を補助（1事業者あたり上限300千円）×150事業者 | R2.5 | R2.7 | 37,091,031 | 37,091,031 | 0 | 37,091,031 | 0 | 0 | 0 | 参加店舗…150件 実績額…支援金：37,091,031円 | コロナ感染症の影響を大きく受けた飲食業等において、テイクアウトやデリバリーの環境整備が促進され、新しい商品提供に繋がったことで、事業継続の支援が図られた。 |
| 24 | 緊急中小企業等事業継続支援金 | 商工振興課 | ①新型コロナウイルス感染症による経済対策として、経済産業省が設けた「持続化給付金」の支給対象外である前年同月比の売上減少率30%以上50%未満の市内中小企業・小規模事業者を対象に定額の支援金を給付することで、事業の継続につなげるとともに、本市内における雇用の維持を図る。 ②事業継続に資する支援金／事業実施に要する役員費（通信運搬費） ③中小企業・小規模事業者200千円×300事業者、個人事業主100千円×200事業者／83円×550通＝36千円 | R2.6 | R3.3 | 43,100,000 | 43,100,000 | 0 | 26,567,750 | 0 | 16,532,250 | 0 | 申請件数…304件 （中小・小規模：136件、個人：168件 ※返還届：6件、不交付決定：1件） 実績額…43,100,000円 （中小・小規模：26,800,000円、個人：16,300,000円） | 国の持続化給付金対象外である中小企業等へ支援金を給付することで、事業継続の支援と雇用維持が図られた。 |
| 25 | チャレンジ事業支援補助金 | 商工振興課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、営業活動の縮小を余儀なくされながらも、感染拡大防止やこの逆境を打破するために取り組もうとする新たなプロジェクトに対し、補助することで、影響を受けている事業者の事業の継続や、その後の回復を支援する。 ②プロジェクト実施経費（クラウドファンディング手数料、チラシ等作成費など） 1,000千円×5事業 ③事業者10者以上を支援する目的で新たな事業に取り組む団体 | R2.6 | R3.3 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 2,000,000 | 0 | 1,000,000 | 0 | 申請件数…3件 実績額…3,000,000円 | コロナ感染症の影響を受けながらも、新たなプロジェクトに取り組む事業者へ補助金を給付することで、事業継続の支援が図られた。 |
| 26 | 新型コロナウイルス感染症対策プレミアム付地域商品券発行事業補助金 | 商工振興課 | ①新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、売上の減少が著しい専門店や商店街店舗での利用促進を図りつつ、ひたひたなか商工会議所が実施するプレミアム付地域商品券の発行を支援することで、市内の商業活動の活性化及び消費喚起を図る。発行数を2万セット追加し、総数を5万セットとすることで、子育て世帯、高齢者、身体障害者の方に向けた優先販売枠を設け、各世代を支援する。 ②事業費（地域商品券のプレミアム分（20%））及び地域商品券の発行に要する事務経費 発行総額600,000千円（50,000セット） 事業費（市負担分）＝96,189千円 ※30,000千円追加 事務経費（市負担分）＝13,771千円 ※3,000千円追加 ③ひたひたなか商工会議所 | R2.6 | R3.3 | 109,960,000 | 109,960,000 | 0 | 58,619,786 | 0 | 51,340,214 | 0 | 申込セット総数：74,373セット 販売数：50,000セット | 販売数50,000セットを完売した。消費喚起を促し、感染症の影響を大きく受けた市内事業者の事業継続支援が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | 事業の実績 | | | | 効果の検証・評価 | | | | |
|----|------------------------------|-----------------|--|----------|----------|-------------|-------------|-------|--------------------|-----|------|-----------|------|---|--|---|
| | | | | | | | | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | | 一般財源 | | | |
| 27 | 専門家派遣・相談事業 | 商工振興課 | ①ひたちなか商工会議所補助金の専門家派遣事業について補助を行うことで、同会議所が実施する専門家を活用した新型コロナウイルス感染症関連の支援策に関する事業者向け個別相談会等の充実・拡充を行う。 ②専門家謝金、事業経費（人件費等） ③ひたちなか商工会議所 | R2.4 | R3.3 | 1,195,000 | 1,195,000 | 0 | 1,195,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 専門家謝金、事業経費（人件費等） 1,195,000円 | 事業者向け相談会等が充実し、支援策についての周知、手続きが促進されたことで、多くの事業者が幅広く支援を受けることができた。 |
| 28 | 宿泊事業者支援事業 | 観光振興課 | ①市内宿泊事業者の事業継続を支援する ②市内の売り上げが減少した宿泊事業者に対し、宿泊施設の収容人数に応じ、10万円から200万円の範囲において、支援金を支給する。 ③市内の宿泊事業者 | R2.6 | R2.7 | 24,835,410 | 24,835,410 | 0 | 24,835,410 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24,835,410円（支援対象の54事業者に対し収容人数に応じた支援金を支給） | コロナ感染症の影響を大きく受けた宿泊事業者に対し、支援金を給付することで、事業継続の支援と雇用維持が図られた。 |
| 29 | 観光推進事業 | 観光振興課 | ①市観光協会や市内観光関連事業者による観光需要の回復に向けた活動を支援する。 ②イベント開催等に係る経費（イベント2事業8,131,821円、宿泊需要喚起事業853,590円、観光消費額向上事業637,360円、映像機器購入279,300円） ③市観光協会や市内の観光関連事業者等 | R2.6 | R3.3 | 9,922,071 | 9,922,071 | 0 | 9,922,071 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | イベント2事業 8,131,821円 宿泊需要喚起事業 853,590円 観光消費額向上事業 637,360円 映像機器購入 279,300円 | 阿字ヶ浦ドライブインシアターイベント等を開催し、市内の観光資源をPRすることで、宿泊、観光需要の回復につなげることができた。 |
| 30 | 映像産業を軸とした観光・産業振興と地域ブランディング事業 | 観光振興課 | ①本市の観光資源に関する映像を制作・配信することで、終息後の誘客に繋げるとともに、市内住民の地元への愛着や誇りを育む ②映像の制作・配信に係る経費（成果物：動画6種類） ③市 | R2.4 | R3.3 | 2,993,650 | 2,993,650 | 0 | 2,993,650 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 映像の制作・配信に係る経費（成果物：動画6種類） | 市の観光資源に関する動画を製作・配信し、市内の観光資源をPRすることで、コロナ禍により落ち込んだ、宿泊、観光需要の回復につなげることができた。 |
| 31 | 交通事業者支援事業 | 観光振興課 | ①市内交通事業者の事業継続を支援する ②市内の交通事業者に対し、所有する台数に応じ、支援金を支給する。 （タクシー：2万円/台、バス：3万円/台、鉄道車両10万円/両） タクシー：20,000円 × 174台 = 3,480千円 バス：30,000円 × 91台 = 2,730千円 鉄道：100,000円 × 8両 = 800千円 ③交通事業者 | R2.6 | R2.10 | 7,010,000 | 7,010,000 | 0 | 5,530,000 | 0 | 0 | 1,480,000 | 0 | 0 | （タクシー：2万円/台、バス：3万円/台、鉄道車両10万円/両） タクシー：20,000円 × 174台 = 3,480千円 バス：30,000円 × 91台 = 2,730千円 鉄道：100,000円 × 8両 = 800千円 | コロナ感染症の影響を大きく受けた交通事業者に対し、支援金を給付することで、事業継続の支援と雇用維持が図られた。 |
| 32 | 問い合わせ体制強化費 | 資産経営課 （給付金室） | ①特別定額給付金給付に関する問い合わせ体制強化 ②電話回線の増設費用 ※撤去費用含む 電話機設置及び配線作業費：79,475円 ③市 | R2.5 | R2.8 | 79,475 | 79,475 | 0 | 79,475 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 電話回線の増設費用 ※撤去費用含む 電話機設置及び配線作業費：79,475円 | 電話回線を増設し、特別定額給付金に関する多くの問い合わせに対応した。 |
| 33 | 学校給食費徴収事務経費負担 | 保健給食課 | ①学校給食休止に伴い学校にて発生した給食費徴収事務にかかる金融機関手数料分として充当し、学校の給食関係会計の負担を低減する。 ②③学校給食休止に伴う経費（学校給食費徴収事務にかかる金融機関手数料等） 23,090円/単独調理場8校、共同調理場2箇所 | R2.4 | R2.5 | 24,090 | 24,090 | 0 | 24,090 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24,090円 | 学校給食の休止に伴い発生した経費を負担することで、給食関係会計の負担軽減が図られた。 |
| 34 | 学校給食キャンセル不可能分食材費の支援 | 保健給食課 | ①②③ 学校給食休止に伴う経費（キャンセル不可能分食材費） 3,756,817円/学校給食関係事業者5事業者 | R2.4 | R2.6 | 3,756,817 | 3,756,817 | 0 | 3,756,817 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,756,817円/学校給食関係事業者5事業者 | 学校給食の休止に伴い発生した経費を負担することで、給食関係会計の負担軽減が図られた。 |
| 35 | 学校給食関係事業者支援補助 | 保健給食課 | ①- ②③ 学校給食休止に伴う経費（主食の委託加工予定数量分の加工費相当額の補助）3,031,749円/学校給食関係事業者3事業者 各小学校給食分（13校） 1,421,541円 各中学校給食分（6校） 954,294円 給食センター分（小3校、中3校、幼1園） 490,459円 共同調理場分（小3校、幼2園） 165,455円 | R2.4 | R3.3 | 3,031,749 | 3,031,749 | 0 | 3,031,749 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,031,749円 | 学校給食の休止に伴い発生した経費を負担することで、給食関係事業者の負担軽減が図られた。 |
| 36 | 公立中学校の修学旅行中止に伴う契約解除費用の支援 | 指導課 | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る休業要請に伴い各家庭の経済状況が悪化している中、就学旅行中止に伴う費用負担を軽減する。 ② 8,461,829円 旅行時期変更に伴う宿舍キャンセル料金 旅行開始21日前契約解除料金 ③ひたちなか市中学校修学旅行委員会に負担金として支出し、旅行契約をしている学校を通じてキャンセル料支払いを行う。 | R2.10 | R2.10 | 8,461,829 | 8,461,829 | 0 | 8,461,829 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,461,829円 | コロナ感染症拡大の影響で、中止となった修学旅行に係る宿泊キャンセル料を負担することで、保護者の負担軽減が図られた。 |
| 37 | GIGAスクール構想実現に基づく環境整備事業 | 学校管理課 | ①新型コロナウイルス感染症予防対策としての休校等の措置が長期間に及んでおり、自宅オンライン学習の重要性が注目されている。このことから文部科学省において、令和5年度までを計画期間としていた「GIGAスクール構想実現のための補助事業」の1人1台タブレット端末の整備費補助が前倒しとなり、令和2年度内での整備目標となった。 ②（1）生徒用タブレット端末の1人1台整備に係る経費 （2）家庭学習のための通信機器整備支援事業 必要額 （1）256,817,600円 内訳 ・タブレット端末（地方単独事業） 総事業費 637,742,600円 国費 380,925,000円 臨時交付金 637,742,600円 - 380,925,000円 = 256,817,600円 （2）インターネット通信費 925,195円 ③小・中学校 | R2.9 | R3.3 | 257,742,795 | 257,742,795 | 0 | 257,742,795 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | （1）256,817,600円 内訳 ・タブレット端末（地方単独事業） 総事業費 637,742,600円 国費 380,925,000円 臨時交付金 637,742,600円 - 380,925,000円 = 256,817,600円 （2）インターネット通信費 925,195円 | 児童・生徒用タブレットを1人1台整備し、GIGAスクール構想の実現に向けた学習環境が整備されたことで、ICT環境の整備が促進された。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | |
|----|--------------------------|----------|---|----------|----------|------------|-------------|--------------------|------------|------|------|-------|--|---|
| | | | | | | | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | 一般財源 | | | |
| 38 | 学校臨時休業対策費補助金 | 保健給食課 | ①学校の臨時休業（令和2年3月2日から春季休業の開始日の前日までの間における学校保健安全法第20条に基づく臨時休業）に伴う学校給食休止に係る学校給食費を保護者に対して返還等するための経費を支援する事業に対して補助を行うことにより、保護者の負担軽減等に資すること。 ②③ パン・米飯・めん等の委託加工者における委託加工予定数量分の加工賃相当額 5,963,392円/パン・米飯・めん委託加工業者 ・国費 5,963,392円×3/4=4,472,000円 ・交付対象経費 5,963,392円-4,472,000円=1,491,392円 | R2.4 | R2.6 | 5,963,392 | 5,963,392 | 4,472,000 | 1,491,392 | 0 | 0 | 0 | パン・米飯・めん等の委託加工者における委託加工予定数量分の加工賃相当額 5,963,392円/パン・米飯・めん委託加工業者 ・国費 5,963,392円×3/4=4,472,000円 ・交付対象経費 5,963,392円-4,472,000円 =1,491,392円 | 学校の臨時休業に伴い生じた給食の休止に係る学校給食費を返還することで、保護者の負担軽減が図られた。 |
| 39 | 小中学生への図書カード配布 | 教育委員会総務課 | ①臨時休校に伴う学習支援のため、児童生徒へ図書カードを配布 ②図書カード2,000円×13,116人=26,232千円 郵送料 211,868円 ③小中学校の児童生徒 | R2.5 | R2.6 | 26,443,868 | 26,443,868 | 0 | 26,443,868 | 0 | 0 | 0 | 図書カード2,000円×13,116人=26,232,000円 郵送料 211,868円 | 臨時休校により、学びの時間が減少した児童生徒の学習支援が図られた。 |
| 41 | 図書館環境整備事業 | 中央図書館 | ①新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、図書消毒機を市内各図書館に設置し、利用者が安心して図書を借りる環境を整備する。 ②図書消毒機の購入経費 847千円×4台 ③図書館 | R2.6 | R2.8 | 3,388,000 | 3,388,000 | 0 | 3,388,000 | 0 | 0 | 0 | 図書消毒機の購入経費 847千円×4台 | コロナ感染症対策に係る図書消毒機を整備したことで、図書館利用者の感染拡大防止が図られた。 |
| 42 | 救急業務に係る感染症予防対策 | 生活安全課 | ①感染者や感染が疑われる要介護者を搬送する際に、救急隊員への感染及び消防署内の拡大を防止するため、感染防止に要する物品を整備する。 ②感染防止物品総額5,213,488円に、ひたちなか・東海負担割合=ひたちなか市分75.1%を乗じている。 ③消防署等 | R2.5 | R2.9 | 3,915,329 | 3,915,329 | 0 | 3,915,329 | 0 | 0 | 0 | 布マスクテープ、サージカルマスク、フェイスガード、消毒液等、呼吸器フィルタ、ディスプレイグローブ、アクリル板、ニトリルグローブ、消毒液等、サージカルマスク、感染防止衣下衣等 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、救急隊員及び消防署内の感染拡大防止が図られた。 |
| 43 | 県外在住学生等支援事業（ひたちなか学生エール便） | 企画調整課 | ①帰省を自粛している市内出身で県外在住の大学生等に対して、ひたちなか市の特産品（米、ほしいも等の詰め合わせ）を郵送し、学生等の生活を支援する。 ②1,492,255円 ・対象者：追加募集分325名 ・特産品の調達費用：1,136,927円 ・消耗品費（配送用段ボール等）：54,990円 ・配送料：300,338円 ③県外で生活する市内出身の大学生等 | R2.7 | R3.3 | 1,492,255 | 1,492,255 | 0 | 1,492,255 | 0 | 0 | 0 | 1,492,255円 ・対象者：追加募集分325名 ・特産品の調達費用：1,136,927円 ・消耗品費（配送用段ボール等）：54,990円 ・配送料：300,338円 | コロナ感染症拡大の影響により、帰省を自粛している大学生等に対し、市の特産品を届けることで、学生生活への支援が図られた。 |
| 44 | 動画配信による情報提供事業 | 広報広聴課 | ①新型コロナウイルス感染症に関する情報発信の手段として、インターネットを活用した動画配信を行うために必要機材を揃え、多くの方へ情報発信をする。 ② A：通信運搬費、事務手数料 B：備品購入費 ③市 | R2.9 | R3.3 | 492,473 | 492,473 | 0 | 492,473 | 0 | 0 | 0 | A：通信運搬費 ・インターネット利用料（Wi-Fiステーション） 6ヵ月=33,883円 B：備品購入費 0 新型コロナウイルス感染症関連情報用動画配信機材 ・ビデオカメラ、専用マイク、ノートパソコン 428,670円 ・Wi-Fiステーション 29,920円 計 458,590円 A+B = 492,473円 | インターネットを活用した動画配信に必要な機材を整備し、既存のSNSや広報紙に加え、多様な発信手段を整備することで、新型コロナウイルス感染症等に関する情報を幅広く周知することができた。 |
| 45 | 職員定期健診等感染防止対策 | 人事課 | ①感染症防止対策を講じた職員定期健康診断等を実施する。 ② 手指消毒液 660円×5本=3,300円 アイソレーションガウン 7,975円×1箱（50枚入）=7,975円 クリーンハンドグローブ 726円×1箱（100枚入）=726円 非接触型体温計 2本 11,220円+14,421円=25,641円 合計37,642円 ③市 | R2.6 | R2.12 | 37,642 | 37,642 | 0 | 37,642 | 0 | 0 | 0 | 手指消毒液 660円×5本 = 3,300円 アイソレーションガウン 7,975円×1箱（50枚入）=7,975円 クリーンハンドグローブ 726円×1箱（100枚入）=726円 非接触型体温計 2本 11,220円+14,421円=25,641円 合計 37,642円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、定期健康診断等における感染拡大防止が図られた。 |
| 46 | 公共的空間安全・安心確保事業 | 資産経営課 | ①本庁舎各トイレの手洗い水栓を、自動化またはレバー取付けを行うことで、接触機会を削減し、感染拡大を防止する。 ②自動化またはレバー取付け作業に係る経費 工事請負費 （自動水栓：41箇所、レバー式水栓：35箇所） 2,046千円 ③市 | R2.9 | R2.11 | 2,046,000 | 2,046,000 | 0 | 2,046,000 | 0 | 0 | 0 | 手洗い場の水栓を自動化またはレバー取付け作業に係る経費 工事請負費 2,046,000円 （自動水栓：41箇所、レバー式水栓：35箇所） | コロナ感染症対策に係る手洗いの自動水栓化等の改修を行ったことで、市庁舎における感染拡大防止が図られた。 |
| 47 | 市民税申告書オンライン作成・印刷システム導入 | 市民税課 | ①申告会場の混雑緩和のためのインターネット環境を利用した市民税・県民税申告書の作成・印刷を可能とする環境を整備。 ②システム導入経費330千円、保守委託料44千円 ③市 | R2.11 | R3.3 | 374,000 | 374,000 | 0 | 374,000 | 0 | 0 | 0 | システム導入経費 330千円 保守委託料 44千円 | システムの導入により、郵送または自書申告の件数が増加。その結果、会場来場者が減少し、3密を回避することで、感染拡大防止が図られた。 |
| 48 | コミュニティ活動感染症防止対策 | 市民活動課 | ①コミュニティ施設や各種事業実施時の衛生体制強化のため、消毒液を購入する。 ②消耗品費 256,190円 ③市内全コミュニティ組織 | R2.9 | R3.3 | 256,190 | 256,190 | 0 | 256,190 | 0 | 0 | 0 | ・消毒液（詰替用4,500ml） （4,700円×17本+税）×2回=175,780円 ・消毒液（詰替用4,500ml） 4,300円×17本+税=80,410円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、コミュニティ活動における感染拡大防止が図られた。 |
| 49 | 自治会活動感染症防止対策 | 市民活動課 | ①集会施設や各種事業実施時の衛生体制強化のため、消毒液及び非接触型体温計を購入する。 ②消耗品費 2,133,978円、備品購入費 1,023,550円 ③市内全自治会 | R2.9 | R3.3 | 3,157,528 | 3,157,528 | 0 | 3,157,528 | 0 | 0 | 0 | ・消毒液（本体500ml） 750円×166本+税=136,950円 ・消毒液（詰替用4,500ml） 4,700円×113本+税=584,210円 ・消毒液（詰替用4,500ml） 4,270円×113本+税=530,761円 ・消毒液オートディスペンサー 2,990円×83台+税=272,987円 ・マスク（1箱50枚入） 490円×1,130箱+税=609,070円 ・非接触赤外線体温計 7,500円×83箱+税=684,750円 ・非接触赤外線体温計 3,500円×88箱+税=338,800円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、自治会活動における感染拡大防止が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | 事業の実績 | | | | 効果の検証・評価 | | | | | |
|----|----------------------------------|---------|---|----------|----------|------------|-------------|-------|--------------------|-----|------------|----------|-----------|---|---|---|--|
| | | | | | | | | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | | 一般財源 | | | | |
| 50 | 自治会活動ICT化推進事業 | 市民活動課 | ①非接触型の情報伝達手段としてICT機器を活用するため、タブレット・スマートフォンの操作に関する講座を開催する。 ②報償費 14,170円、会場借上料 18,100円 ③市内全自治会 | R2.9 | R3.3 | 32,270 | 32,270 | 0 | 32,270 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | ・講師謝礼 7,085円×2回=14,170円 ・会場使用料 (2/19開催分) 2,300円 (2/26開催分) 15,800円 | 講座を通して、タブレットやスマートフォンの操作についての理解が深まり、自治会活動のICT化に向けた動きが促進された。 | |
| 51 | 防災活動支援事業 | 生活安全課 | ①災害時の避難所における新型コロナウイルス感染症防止対策として、避難所の衛生体制の強化を図る。 ②消耗品費 283千円、備品購入費 396千円 ③避難所 | R2.4 | R3.3 | 678,788 | 678,788 | 0 | 678,788 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 消耗品費（アルミシート300枚、手指消毒液、アルコールウエットティッシュ、フェイスシールド、ビニール手袋） 備品購入費（赤外線体温計20本） | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、避難所における感染拡大防止が図られた。 | |
| 52 | オンラインマラソン大会・フォトコンテストの開催 | スポーツ振興課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった勝田全国マラソン、三浜駅伝競走大会の代替イベントとして、新しい生活様式に則ったオンライン方式によるマラソン大会を開催するとともに、過去に両大会に参加した際に撮影した写真のフォトコンテストを実施し、その参加賞・抽選賞等として市の特産品を提供することにより、走る機会の提供、健康の増進、市内経済の維持及び次回大会への意識付けを図る。 ②大会実行委員会への市負担金 8,481,283円 【大会に係る総事業費：13,117,124円】 ・事務局費：105,408円 ・賞品費：6,898,646円（参加賞・抽選賞等） ・賞品郵送料：1,507,127円 ・オンラインマラソン委託費：2,825,845円 ・フォトコンテスト関連経費：1,401,400円 ・広告関連経費：378,698円 ③大会実行委員会 | R2.10 | R3.3 | 8,481,283 | 8,481,283 | 0 | 4,626,152 | 0 | 3,855,131 | 0 | 0 | 0 | 0 | ○大会実行委員会への市負担金 8,481,283円 【大会に係る総事業費：13,117,124円】 | コロナ感染症の影響により、中止を余儀なくされた勝田マラソン等の代替イベントを行うことで、収束後に行う次回大会への参加につながることで、市内経済の維持が図られた。 |
| 53 | 新生児子育て応援金給付事業 | 健康推進課 | ①新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況の中、不安を抱えながら出産を迎えた世帯を応援するため、応援金を給付する。 ②新生児応援金、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費 ③令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した者で、出生時から申請時まで本市の住民基本台帳に記録されている者の父又は母。 | R2.10 | R3.7 | 98,183,659 | 98,183,659 | 0 | 94,643,035 | 0 | 0 | 0 | 3,540,624 | 0 | 0 | ・応援金 100,000円×979人=97,900,000円 ・申請書、決定通知書封筒印刷等 34,705円 ・郵送料（申請書、決定通知書等） 242,556円 ・消耗品 6,398円 | コロナ感染症の収束が見込めない中、出産を迎えた世帯へ応援給付金を支給することで、子育て世帯への支援が図られた。 |
| 54 | 新型コロナウイルス感染症対応従事者（保育所・学童）慰労金支給事業 | 子ども政策課 | ①国の「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」等による支援の対象外である。感染症が拡大するなか、社会基盤の維持のために保育・学童サービスに従事した方へ慰労金を支給する。 ②報償金 30,000円×1,054人=31,620,000円 振込通知代 78,859円 ③認可保育所職員（公立保育所の正職員を除く）及び学童クラブ従事者 | R2.8 | R3.3 | 31,698,859 | 31,698,859 | 0 | 31,698,859 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 報償金 30,000円×1,054人=31,620,000円 振込通知代 78,859円 | コロナ感染症が拡大する中、保育や学童サービスに従事する方へ慰労金を支給し支援することで、社会基盤の維持につながった。 |
| 55 | 子育て支援センターオンライン環境整備事業 | 子ども政策課 | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため子育て支援センターの利用を制限している中、外出がままならない子育て家庭が、在宅においてもオンライン上で子育て講座の受講や相談・面談事業を実施できるようにするための設備を購入し、子育て中の保護者の精神的な負担の軽減や孤立の防止を図る。 ②タブレット、キーボード、ビデオカメラ、ウェブカメラ、タブレットスタンド等購入費 761,343円 ③市 | R2.9 | R3.3 | 761,343 | 761,343 | 0 | 761,343 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | タブレット、キーボード、ビデオカメラ、ウェブカメラ、タブレットスタンド等購入費 761,343円 | コロナ感染症の影響で外出がままならない子育て家庭でも、相談業務等について、オンライン環境を整備したことで、オンラインによる相談ツールが増え、子育て支援の充実が図られた。 |
| 56 | 公立保育所ICT化事業 | 幼児保育課 | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、アプリによる保護者との連絡手段の確立、登降園児のQRコード等による徹底管理等の環境整備を行う。 ②システムリース料 830,500円 タブレット等周辺機器購入費 2,431,000円 ③市 | R2.9 | R3.3 | 3,261,500 | 3,261,500 | 0 | 3,261,500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | システムリース料 830,500円 タブレット等周辺機器購入費 2,431,000円 | 非接触による連絡手段を確立し、児童の健康状態を把握することで、感染拡大防止が図られた。 |
| 57 | 市内事業者向け個別相談事業 | 商工振興課 | ①多岐にわたる新型コロナウイルス感染症に関連した経済支援策（国・県・市）を、市内中小・小規模事業者等が活用できるようにするため、行政書士2名による個別相談会を市独自に開催することで、相談機会を拡充し市内事業者の支援策活用を促し、事業の継続や立て直しを図り、本市経済を活性化させる。 ②行政手続き相談会に係る委託費（委託先：茨城県行政書士会）16,500円×2名×14回=462千円 ③市内中小企業・小規模事業者および個人事業主 | R2.8 | R2.11 | 462,000 | 462,000 | 0 | 462,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 相談件数：21件 | コロナ感染症に関連した経済支援策について、事業者向けの個別相談会を通して、有効活用を促すことで、事業継続支援が図られた。 |
| 58 | 新型コロナウイルス感染症対策新しい生活様式対応支援補助金 | 商工振興課 | ①新しい生活様式に沿った対策を講じた市内事業者に対して、当該対策に要する経費の一部を補助することで、感染症の拡大を防止するとともに、事業の継続を支援し、市内経済の回復を図る。 ②補助率3分の2、1事業所につき上限100千円。1事業者あたり5事業所まで対象可。対象経費…感染防止に資する物品購入費および設備の設置・改修費／事業実施に要する役員費（通信運搬費） 100千円×500事業所=50,000千円／84円×500通=42千円 ③市内中小企業・小規模事業者および個人事業主または市内に主たる事業所を有する大企業 | R2.8 | R3.3 | 38,205,000 | 38,205,000 | 0 | 22,766,439 | 0 | 15,438,561 | 0 | 0 | 0 | 0 | 申請件数…509件 実績額…38,205,000円 | コロナ感染症対策のために行う、新しい生活様式に沿った物品等の整備に対し、補助金を給付することで、感染拡大防止と事業継続の支援が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | |
|----|-----------------------------|-------|---|----------|----------|------------|-------------|-------|--------------------|-----|------------|-------|---|--|
| | | | | | | | 補助対象 事業費 | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | | | 一般財源 |
| 59 | 新型コロナウイルス感染症対策デジタル技術活用促進補助金 | 商工振興課 | ①新しい生活様式に対応した、働き方改革や営業活動および人材確保の手法等のビジネス環境を構築するために、テレワーク及びオンライン商談の環境整備のほか、バーチャル工場見学等のデジタル技術の活用による、令和2年度内に発生した必要経費の一部を補助することで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び緊急時における事業継続につなげ、本市の産業基盤の強化を図る。 ②補助率3分の2。A：デジタル環境整備事業・機器・システム・ソフト等の導入費および利用料等（上限300千円）、B：バーチャル工場見学導入事業…コンテンツ作成に係る委託費等（上限500千円）／事業実施に要する役務費（通信運搬費） A：300千円×110事業者=33,000千円、B：500千円×4事業者=2,000千円（合計35,000千円）／84円×50通=4千円 ③市内中小企業・小規模事業者および個人事業主 | R2.8 | R3.3 | 43,283,000 | 43,283,000 | 0 | 30,431,352 | 0 | 12,851,648 | 0 | 申請件数…177件 実績額…43,283,000円 | コロナ感染症に対応したビジネス環境の整備に対し、補助金を給付することで、感染拡大防止と事業継続の支援が図られた。 |
| 60 | 新型コロナウイルス感染症対策専門家支援活用補助金 | 商工振興課 | ①市内中小企業・小規模事業者等が国や県をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策の補助・助成制度の申請に際して、専門家を活用した場合の当該委託等に要する経費の一部を補助することで、各種助成制度の積極的な活用を促進し、本市内における事業者の事業継続と雇用の維持を図る。 ②月1日以降に専門家を活用して行った国・県等の助成金等の申請や活用、関連する内部規制の整備、計画等の策定に要した経費の一部。補助率2分の1、上限50千円／事業実施に要する役務費（通信運搬費） 50千円×100事業者=5,000千円／84円×100通=9千円 ③市内中小企業・小規模事業者および個人事業主 | R2.8 | R3.3 | 1,568,000 | 1,568,000 | 0 | 1,568,000 | 0 | 0 | 0 | 申請件数…35件 実績額…1,568,000円 | 支援策を利用するために必要な、補助申請や計画策定等の業務を、専門家に委託する経費の一部を補助することで、中小・小規模事業者に対する支援策が有効に活用され、事業継続の支援が図られた。 |
| 61 | 中小企業等固定費支援金 | 商工振興課 | ①・③新型コロナウイルス感染症による経済対策として、経済産業省が設けた「家賃支援給付金」を活用していない、売上減少率が単月で前年同月比30%以上の市内中小企業・小規模事業者、個人事業主を対象に、事業の維持に要した固定費に対する支援金を給付することで、事業の継続につなげるとともに、市内における雇用の維持を図る。 ②事業継続に要する家賃・地代、もしくは光熱水費等を補助率2分の1、上限月額10万円で令和2年4月～12月のうちの2ヶ月分支給。市内で複数事業所で事業を営む事業者については2物件まで対象可／事業実施に要する役務費（通信運搬費） 通信運搬費 94,000円 ③市内中小企業・小規模事業者および個人事業主 | R2.8 | R3.3 | 37,266,005 | 37,266,005 | 0 | 21,504,931 | 0 | 15,761,074 | 0 | 申請件数…364件 実績額…37,266,005円 | コロナ禍により大きく影響を受けた事業者に対し、固定経費の一部を補助することで、事業継続の支援が図られた。 |
| 62 | まちなか賑わい応援補助金 | 商工振興課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、利用者が減少している市内店舗に対して、駅前イルミネーション写真等を提示して一定額以上利用した顧客に対する割引サービスを実施した場合の補助を行うことで、店舗への誘客を促し、本市経済の活性化を図る。 ②A：対象店舗で駅前イルミネーション写真等を提示し、1,000円以上利用した顧客に対して行う、1人当たり500円の割引分の補助（1事業所あたり補助上限100千円）／B：事業運営委託費／C：印刷製本費／D：通信運搬費 A：500円×200人×200事業所=20,000千円／B：2,000千円／C：300千円／D：200千円 A…市内店舗（スーパー・ドラッグストア等を除く）／B・C・D…ひたちなか商工会議所 | R2.12 | R3.3 | 17,470,265 | 17,470,265 | 0 | 8,845,054 | 0 | 8,625,211 | 0 | A：187事業所、15,052,000円 B：2,000,000円 C：198,000円 D：216,635円 両替手数料：3,630円 合計 17,470,265円 | 割引サービスの利用に、駅前イルミネーションの写真等の提示を求めることで、販売促進と店舗への誘客が促され、事業継続の支援が図られた。 |
| 63 | 観光関連事業者支援事業 | 観光振興課 | ①市内観光関連事業者の事業継続を支援する。 ②市内の売り上げが減少した観光関連事業者に対し、支援金を支給する。 ③市観光協会会員又はひたちなか商工会議所会員である市内の観光関連事業者 中小・小規模事業者：200千円×23事業者=4,600千円 個人事業主：100千円×15事業者=1,500千円 | R2.9 | R2.11 | 6,100,000 | 6,100,000 | 0 | 3,050,000 | 0 | 3,050,000 | 0 | 中小・小規模事業者：200千円×23事業者=4,600千円 個人事業主：100千円×15事業者=1,500千円 | コロナ禍により大きく影響を受けた観光事業者に対し、支援金を支給することで、事業継続の支援が図られた。 |
| 64 | 貸切バス事業者支援事業 | 観光振興課 | ①感染対策を講じた、低廉な価格でのバスツアー造成を支援することで、貸切バス事業者を支援するとともに、市に活力を与える。 ②市民をメインターゲットとした県内日帰りバスツアーを実施する市内の貸切バス事業者に対し、運賃等に応じ1台あたり6万円を上限に支援金を支給する。 60千円×20台=1,200千円、50千円×16台=800千円 ③市内の貸切バス事業者 | R2.9 | R4.3 | 76,200 | 76,200 | 0 | 53,350 | 0 | 22,850 | 0 | 市内2事業者へ支給 76,200円 | コロナ禍により大きく影響を受けた貸切バス事業者に対し、支援金を支給することで、事業継続の支援が図られた。 |
| 65 | 音楽のまちづくり支援事業 | 観光振興課 | ①発表会の機会を失った音楽やダンス等のスクール事業者に対し、成果を発表する機会を提供することで、音楽と地域の協働によるまちの活性化及び参加者の活動意欲の向上を図る。 ②イベント運営・音響費、感染対策費等 ③参加団体：9団体、参加人数：113人 | R2.9 | R2.11 | 833,410 | 833,410 | 0 | 833,410 | 0 | 0 | 0 | イベント運営・音響費 777,190円 消耗品費（※感染対策費等） 56,220円 | コロナ禍で発表の機会を失った、音楽やダンススクール等へ発表の場を提供することで、まちの活性化や活動意欲の向上が図られた。参加者からも好評であった。 |
| 66 | 地元水産物消費拡大事業 | 水産課 | ①市内の魚介類を取扱う飲食店の紹介チラシを作成し誘客を図り、また、市魚食普及推進大使「さかなくん」を活用したグッズや、市の水産特産品を景品として配布することで、消費意識及び魚食普及意識を喚起し、新型コロナウイルス感染症による影響を受けている本市の飲食店や水産事業者の経営支援に資する。 ②・キャンペーンチラシ ・市章、さかなくん自画イラスト入りトートバック ・スタンプラリー ③水産事業者等 | R2.8 | R3.3 | 2,404,050 | 2,404,050 | 0 | 2,404,050 | 0 | 0 | 0 | ・キャンペーンチラシ 印刷料金 302,500円、折込料金 180,268円 ・市章、さかなくん自画イラスト入りトートバック トートバック 787,600円 ライセンス使用料 500,000円 ・スタンプラリー スタンプ作成等 22,812円 水産特産品 400,000円 郵送料 210,870円 | スタンプラリー等のキャンペーンを行うことで、消費拡大と店舗への誘客が促され、事業継続の支援が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | |
|----|---|-------|---|----------|----------|------------|-------------|------------|--------------------|-----|-----------|-----------|--|--|
| | | | | | | | 補助対象 事業費 | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | | | 一般財源 |
| 67 | 公立学校情報機器整備費補助金 | 学校管理課 | ①新型コロナウイルス感染症予防対策としての休校等の措置が長期間に及んでおり、自宅オンライン学習の重要性が注目されている。このことから文部科学省において、令和5年度までを計画期間としていた「GIGAスクール構想実現のための補助事業」の1人1台タブレット端末の整備費補助が前倒しとなり、令和2年度内での整備目標となった。 ②学校からの遠隔学習機能の強化事業 WEBカメラ本体購入費 ③小・中学校 | R2.9 | R3.3 | 1,349,700 | 1,349,700 | 507,000 | 842,700 | 0 | 0 | 0 | WEBカメラ本体購入費 ・補助対象事業費 1,349,700円 ・国費 3,500円×10台×29校×1/2 =507,000円 ・臨時交付金 1,349,700円-507,000円 =842,700円 | コロナ禍において、オンライン学習の重要性が高まっていることから、WEBカメラを整備することで、遠隔学習の機能強化が図られた。 |
| 68 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 保健給食課 | ① (1) 感染症対策のためのマスク等購入支援事業 学校再開等に当たり集団感染のリスクを避けるため、学校設置者が必要とする経費（保健衛生用品等を整備する経費）を補助する。 (2) 学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業 感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びの保障をするための取組に必要な経費を補助する。 ②③ (1) 除菌アルコール、マスク等 ・小学校20校、中学校9校、幼稚園5園 (2) 消耗品費・備品購入費・負担金 ・小学校20校、中学校9校 | R2.4 | R3.3 | 48,815,000 | 48,815,000 | 24,407,000 | 24,408,000 | 0 | 0 | 0 | (1) 除菌アルコール、マスク等 ・総事業費 4,578,537円 (小学校20校、中学校9校、幼稚園5園) ・補助対象事業費 4,315千円 ・国費 児童生徒数12,692人×340円 ×1/2=2,157千円 ・臨時交付金 4,315千円-2,157千円 =2,158千円 ・補助対象外経費 4,578,537円-4,315,000円= 263,537円 (2) 消耗品費・備品購入費・負担金 ・総事業費 45,056,291円 (小学校20校、中学校9校) ・補助対象事業費 44,500千円 ・国費 44,500千円×1/2= 22,250千円 ・臨時交付金 44,500千円-22,250千円= 22,250千円 ・補助対象外経費 45,056,291円-44,500,000円=556,291円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、小学校、中学校、幼稚園における感染拡大防止が図られた。 |
| 69 | 小中幼感染症対策事業 | 保健給食課 | No.68の関連地方単独事業分 ①②No.68と同様 ③No.68の経費のうち補助対象外経費分 819,828円 ③小学校・中学校・幼稚園 | R2.4 | R3.3 | 819,828 | 819,828 | 0 | 819,828 | 0 | 0 | 0 | No.68の経費のうち補助対象外経費分 819,828円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、小学校、中学校、幼稚園における感染拡大防止が図られた。 |
| 71 | 学校給食の提供日数増加に伴う食材検査費用等の支援 | 保健給食課 | ①②新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季休業期間が短縮されたことで、給食提供日数が増加したことに伴い生じた調理員等人員費及び給食用食材放射性物質検査費用 ③ ・調理員及び配膳員人員費（会計年度任用職員） ・給食用食材放射性物質検査費用 検査食材費 検査食材運搬手数料 | R2.7 | R3.1 | 21,391,680 | 21,391,680 | 0 | 21,391,680 | 0 | 0 | 0 | ・調理員及び配膳員人員費（会計年度任用職員） 給料 20,140,147円 通勤手当 388,880円 地域手当 805,402円 ・給食用食材放射性物質検査費用 検査食材費 単独調理場（小学校）：15,084円（5日分） 単独調理場（中学校）：5,262円（2日分） 共同調理場：5,536円（7日分） 検査食材運搬手数料 単独調理場（小学校） 5日×1,164円/H×2.5H/日×1.1=16,005円 単独調理場（中学校） 2日×1,164円/H×2.5H/日×1.1=6,402円 共同調理場 7日×1,164円/H×1H/日×1.1=8,962円 | コロナ禍により、給食提供日数が増加したことに伴い生じた、調理や食材検査に係る経費を支援することで、安全・安心な給食の提供が図られた。 |
| 72 | 特別支援教育（言語通級児童生徒等）の指導に係る感染防止対策 | 指導課 | ①教室における感染防止対策のためフェイスシールド等購入 ②消耗品費 ③市 | R2.5 | R2.6 | 27,740 | 27,740 | 0 | 27,740 | 0 | 0 | 0 | フェイスシールド 10枚×398円（内税）=3,980円 アクリルパーテーション 6台×3,600円+税=23,760円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、学校における感染拡大防止が図られた。 |
| 73 | 教育支援センター（いちょう広場）の感染防止対策 | 指導課 | ①教室における感染防止のため消毒液等購入 ②消耗品費 ③市 | R2.5 | R2.5 | 7,560 | 7,560 | 0 | 7,560 | 0 | 0 | 0 | 除菌用アルコール15kg 1個×7,560円（内税）=7,560円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、教室における感染拡大防止が図られた。 |
| 74 | 教員研修会等の感染防止対策 | 指導課 | ①研修会等開催時に感染防止対策のため除菌用アルコール等購入 ②消耗品費 ③市 | R2.5 | R2.8 | 5,944 | 5,944 | 0 | 5,944 | 0 | 0 | 0 | 除菌7アルコールウェットティッシュ 5個×178円（内税）=890円 ビニール手袋 1箱×698円（内税）=698円 7アルコールジェル 2本×1,298円（内税）=2,596円 7アルコールスプレー 2本×800円+税=1,760円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、教員研修会等における感染拡大防止が図られた。 |
| 75 | 夏季休業期間の短縮に伴う授業日数の増加によるスマイルスタディサポーターの勤務時間増 | 指導課 | ①夏季休業期間の一部を授業日に変更したため、児童・生徒を指導するスマイルスタディサポーターの勤務時間が増加した。勤務の増加分について、時間外手当を支給して対応する。 ②時間外手当（スマイルスタディサポーター 11名分） ③市 | R2.7 | R2.8 | 1,033,090 | 1,033,090 | 0 | 1,033,090 | 0 | 0 | 0 | 時間外手当（スマイルスタディサポーター 11名分） 7月分 258時間 451,758円 8月分 332時間 581,332円 | コロナ禍により、夏季休業期間が短縮されたことに伴い生じた、スマイルスタディサポーターに係る経費を支援することで、児童・生徒の指導体制が確保された。 |
| 76 | 大人の集いにおけるきめ細かな感染防止対策事業 | 青少年課 | ①大人の集い実行委員会及び成人の集いにおける感染防止対策のため消毒液等を購入する。 ②消耗品費 ③大人の集い実行委員会委員及び成人の集い参加者、スタッフ | R2.10 | R3.1 | 53,526 | 53,526 | 0 | 53,526 | 0 | 0 | 0 | 手指消毒液 12本×1,180円+税=15,576円 サージカルマスク 10箱×750円+税=8,250円 消毒液スタンド 5台×5,400円+税=29,700円 合計 53,526円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、大人の集いにおける感染拡大防止が図られた。 |
| 77 | 子ども・子育て支援交付金 | 青少年課 | ①新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校臨時休業時において平日の午前中から学童クラブを開所するための経費及び、新型コロナウイルス感染症予防に係る学童クラブ利用自粛者への利用料返還。 ②該当期間中の人員費及び民間学童クラブへの補助金。利用料返還等に係る経費及び民間学童クラブへの収入減に対する補助金。 ③市内公立学童クラブ38クラブ及び民間学童クラブ12事業所分 | R2.4 | R3.3 | 12,186,942 | 12,186,942 | 4,062,000 | 4,062,942 | 0 | 4,062,000 | 0 | 該当期間中の人員費及び民間学童クラブへの補助金。利用料返還等に係る経費及び民間学童クラブへの収入減に対する補助金。 補助対象総額 12,186,942円=12,187千円 国費1/3 4,062千円、県費1/3 4,062千円 市単独費（臨時交付金） 4,062,942円 | コロナ禍により、学校が臨時休業とされたことに伴い生じた、学童クラブの開所や利用自粛者への利用料返還に係る経費を支援することで、学童クラブの運営確保と利用者の負担軽減が図られた。 |
| 78 | 地域公共交通利用喚起事業 | 企画調整課 | ①市内の基幹的な地域公共交通利用を喚起するため、1日フリー券の割引販売に対し補助 ②③ 割引分経費 400円×60,000枚=24,000,000円 ③ひたちなか海浜鉄道、茨城交通 | R3.3 | R4.3 | 22,506,600 | 22,506,600 | 0 | 20,000,000 | 0 | 0 | 2,506,600 | 割引分経費 ○ひたちなか海浜鉄道 11,008,000円 ○茨城交通 11,498,600円 | コロナ感染症拡大の影響により利用が落ち込んだ公共交通に対し、割引販売への補助をすることで、事業継続への支援が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | | |
|----|--------------------------|-------|---|----------|----------|------------|-------------|-------|--------------------|-----|------|-------|---|--|---|
| | | | | | | | 補助対象 事業費 | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | | | 一般財源 | |
| 79 | 県外在住学生等支援事業（ひたちなか学生エール便） | 企画調整課 | ①帰省を自粛している市内出身で県外在住の大学生等に対して、ひたちなか市の特産品を郵送し、学生等の生活を支援する。 ②・対象者：1,000名（令和2年度実績より積算） ・特産品の調達費用（1,000名分） ・消耗品費（配送用段ボール等） ・配送料 ・封入封緘委託料 ③県外で生活する市内出身の大学生等 | R3.3 | R3.11 | 5,162,328 | 5,162,328 | 0 | 5,162,328 | 0 | 0 | 0 | 5,162,328円 ・対象者：1,000名 ・特産品の調達費用（1,000名分） 3,500円×1,000名=3,500,000円 ・消耗品費（配送用段ボール等）：267,682円 ・配送料 899,646円 ・封入封緘委託料 495,000円 | コロナ感染症拡大の影響により、帰省を自粛している大学生等に対し、市の特産品を届けることで、学生生活への支援が図られた。 | |
| 80 | オンライン会議システム導入 | 情報政策課 | ①市で開催する内部会議におけるオンライン会議システムの導入 ②システムライセンス料、タブレット購入(30台) ③市 | R3.3 | R3.3 | 4,034,800 | 4,034,800 | 0 | 4,034,800 | 0 | 0 | 0 | システムライセンス料 3,341,800円 タブレット購入(30台) 693,000円 | オンライン会議システムを整備し、コロナ禍における新しい働き方に対応する環境整備が図られた。 | |
| 81 | 新型コロナウイルス感染拡大防止（消耗品） | 情報政策課 | ①職場内やITサポートセンターにおける感染拡大防止のための消耗品 ②消毒液、パーティション、フェイスシールド等 ③市 | R2.5 | R3.3 | 17,888 | 17,888 | 0 | 17,888 | 0 | 0 | 0 | 消毒液、パーティション、フェイスシールド等 17,888円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、感染拡大防止が図られた。 | |
| 82 | 市民税・県民税申告会場の感染防止対策 | 市民税課 | ①申告会場内の感染防止のための衛生関係物品購入及び飛沫防止パーティション制作のための部品、簡易テント及びその付属部品の購入 ②消耗品費 ③市 | R2.12 | R3.3 | 278,224 | 278,224 | 0 | 278,224 | 0 | 0 | 0 | 消耗品費 278,224円 衛生関係物品、飛沫防止パーティション、簡易テント及びその付属部品等 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、市民税・県民税申告会場における感染拡大防止が図られた。 | |
| 83 | 市民税・県民税申告会場の感染防止対策 | 市民税課 | ①申告会場内の待合室等の拡大に伴う、申告補助業務に従事する人員の拡充 ②人件費 3名分 報酬 594千円 費用弁償 12千円 ③市 | R3.2 | R3.3 | 605,653 | 605,653 | 0 | 605,653 | 0 | 0 | 0 | 報酬 593,853円 費用弁償 11,800円 | 例年、混雑する申告会場内待合室を拡大したことで、3密回避に繋がり、感染拡大防止が図られた。 | |
| 84 | 市民税・県民税申告書の読取り機器の購入 | 市民税課 | ①No.47で導入したシステムで作成した申告書に記載されているQRコードを読み取り、申告データの入力を容易にするための物品の購入 ②備品購入費 ③市 | R3.2 | R3.2 | 64,350 | 64,350 | 0 | 64,350 | 0 | 0 | 0 | 庁用備品購入費 64,350円 | システム導入により、申告手続きに要する時間が短縮し、申告会場の混雑が緩和され、3密を回避することで、感染拡大防止が図られた。 | |
| 85 | 市民税・県民税申告会場の感染防止対策 | 市民税課 | ①申告会場内の感染防止のための衛生関係物品の追加購入 ②衛生関係物品 20千円 受付設備追加購入 118千円 ③市 | R3.3 | R3.3 | 137,946 | 137,946 | 0 | 137,946 | 0 | 0 | 0 | 消耗品費 137,946 衛生関係物品、受付設備追加購入 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、市民税・県民税申告会場における感染拡大防止が図られた。 | |
| 86 | 窓口業務等に係る感染防止対策 | 資産税課 | ①②窓口業務、家屋調査における感染防止対策のため、消毒用のアルコール、フェイスシールドを始めとした消耗品の購入。 ②フェイスシールド 198円×30個=5,940円 アルコールハンドスプレー 1,098円×12個=13,176円 薬用消毒スプレー 携帯用 428円×4個=1,712円 薬用消毒スプレー 携帯用 398円×21個=8,358円 ポリエチレン手袋 398円×6個=2,388円 合計金額 31,574円 ③資産税課 窓口、家屋調査 | R2.4 | R3.3 | 31,574 | 31,574 | 0 | 31,574 | 0 | 0 | 0 | 消耗品費 フェイスシールド 198円×30個=5,940円 アルコールハンドスプレー 薬用消毒スプレー 携帯用 1,098円×12個=13,176円 薬用消毒スプレー 携帯用 428円×4個=1,712円 薬用消毒スプレー 携帯用 398円×21個=8,358円 ポリエチレン手袋 398円×6個=2,388円 合計金額 31,574円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、窓口業務等における感染拡大防止が図られた。 | |
| 87 | 窓口業務等に係る感染防止対策 | 収税課 | ①②窓口業務における感染防止対策のため、消毒用のアルコールを始めとした消耗品の購入。 ②消耗品費 感染症対策デスク用簡易パーティション ③収税課 窓口 | R2.4 | R3.3 | 66,897 | 66,897 | 0 | 66,897 | 0 | 0 | 0 | 消耗品 トトリル手袋M 1,120円×2個=2,240円 アルコール除菌剤1.8L 15,000円 手動灯油ポンプ 220円 ウエットティッシュ(つめかえ) 329円×3個=987円 カウンタークロス 1,576円×2個=3,152円 スプレーボトル500ml 650円 手指消毒剤4.5L 3,280円 小計 25,529円 消費税 2,552円 合計金額 28,081円 感染症対策デスク用簡易パーティション 塩ビ版(透明) 3,388円×11枚=37,268円 加工代(カット代) 800円 カッター(ブラ板用) 748円 合計 38,816円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、窓口業務等における感染拡大防止が図られた。 | |
| 88 | コミュニティ施設感染症防止対策工事 | 市民活動課 | ①地域住民の交流拠点であるコミュニティ施設において新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることを目的として、施設内トイレの洋式化及び手洗場の自動水栓化の改修工事を行う。 ②工事請負費 11,374,000円 ③市内3コミュニティセンター（佐野、津田、大島） | R3.1 | R4.2 | 11,374,000 | 11,374,000 | 0 | 11,374,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 佐野、津田、大島の各コミュニティセンターのトイレ洋式化及び手洗いの自動水栓化の改修工事 ・工事請負費 11,374,000円 | コロナ感染症対策に係るトイレの洋式化や手洗いの自動水栓化等の改修を行ったことで、利用者間の感染拡大防止が図られた。 |
| 89 | コミュニティ施設感染症防止対策備品購入 | 市民活動課 | ①地域住民の交流拠点であるコミュニティ施設において新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることを目的として、施設利用者に検温を行うためサーモカメラを設置する。 ②備品購入費 1,248,390円 ③市内全コミュニティセンター（9施設） | R3.1 | R3.3 | 1,248,390 | 1,248,390 | 0 | 1,248,390 | 0 | 0 | 0 | 0 | 市内の全てのコミュニティセンターへサーマルカメラの整備 ・体表面温度測定対応顔認証リーダー 126,100円×9台+税=1,248,390円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、コミュニティセンターにおける感染拡大防止が図られた。 |
| 90 | 防災マップ改定事業 | 生活安全課 | ①感染症対策を踏まえた防災マップの改定 ②③印刷製本費 1,902千円 ③市が作成し、市民へ配布 | R3.2 | R3.7 | 1,901,900 | 1,901,900 | 0 | 1,901,900 | 0 | 0 | 0 | 0 | 印刷製本費 1,901,900円 防災マップを70,000部作成 | 防災マップについて、コロナ感染症対策を加える改定をすることで、避難時や避難所における感染拡大防止の情報周知が図られた。 |
| 91 | デジタル会議システム整備事業 | 生活安全課 | ①庁内及び外部の方を招いての会議を多数実施する防災会議室において、飛沫防止やソーシャルディスタンスを確保した会議の開催に対応するため、デジタル会議システムを整備する ②備品購入費 2,882千円 ③市 | R3.2 | R3.6 | 2,882,000 | 2,882,000 | 0 | 2,882,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 備品購入費 2,882,000円 | デジタル会議システムを整備し、ソーシャルディスタンスを確保した会議の開催が可能になったことで、会場における感染拡大防止が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | | | |
|-----|----------------------------------|-------|---|----------|----------|-------------|-------------|--------------------|-------------|------|------|------------|----------|--|---|--|
| | | | | | | | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | 一般財源 | | | | | |
| 107 | 生涯保健センター事務室分散化事業 | 健康推進課 | ①生涯保健センターに従事する職員の密接状態を解消するため、会議室を事務室として使用することで、職員等の感染拡大防止を図る。 ②事務室分散化工事等費用（消耗品費、手数料、備品購入費） ③生涯保健センター事務室 | R2.4 | R3.3 | 587,226 | 587,226 | 0 | 587,226 | 0 | 0 | 0 | 0 | LAN配線設置作業費 278,300円 電話機移設・増設作業費 264,000円 電話機 35,750円 テレホンコード 1,098円 電源タップ 8,078円 | 事務室を分散し、3密状態を軽減することで、生涯保健センターにおける感染拡大防止が図られた。 | |
| 108 | 生涯保健センター空間安心安全確保事業 | 健康推進課 | ①感染防止対策を行うことで、生涯保健センターを安心して利用できるような環境整備を図る。 ②施設整備工事費、備品購入費 ③生涯保健センター | R3.1 | R3.5 | 1,246,300 | 1,246,300 | 0 | 1,246,300 | 0 | 0 | 0 | 0 | タブレット型サーマルカメラ 91,300円 給水栓改修工事 1,155,000円 | コロナ感染症対策に係る手洗いの自動水栓化やサーマルカメラを設置することで、利用者間の感染拡大防止が図られた。 | |
| 109 | 生涯保健センター空間安心安全確保事業 | 健康推進課 | ①感染防止対策を行うことで、生涯保健センターを安心して利用できるような環境整備を図る。 ②消耗品費、備品購入費 ③生涯保健センター | R2.12 | R3.3 | 134,355 | 134,355 | 0 | 134,355 | 0 | 0 | 0 | 0 | ビニールクロス、ペーパータオル等 110,155円 非接触型体温計 24,200円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、生涯保健センターにおける感染拡大防止が図られた。 | |
| 110 | 両親教室感染防止対策事業 | 健康推進課 | ①感染防止対策を施し、市職員による妊娠30週前後の妊婦とその夫を対象とする両親教室において、沐浴人形を従来の6体から12体へ増やし、人形1体に対し夫婦1組で安心して使用してもらうための環境整備を図る。 ②消耗品費、備品購入費 ③教室参加受講者 | R2.12 | R3.3 | 709,807 | 709,807 | 0 | 709,807 | 0 | 0 | 0 | 0 | 沐浴人形 6体 592,000円 ベビー服 117,807円 | 両親教室において、沐浴人形を追加し、参加者を分散することで、ソーシャルディスタンスが確保され、利用者の感染拡大防止が図られた。 | |
| 111 | 両親教室感染防止対策事業 | 健康推進課 | ①感染防止対策を施し、市職員による妊娠30週前後の妊婦とその夫を対象とする両親教室において、沐浴人形を従来の6体から12体へ増やし、人形1体に対し夫婦1組で安心して使用してもらうための環境整備を図る。 ②消耗品費、備品購入費 ③教室参加受講者 | R2.12 | R3.3 | 141,814 | 141,814 | 0 | 141,814 | 0 | 0 | 0 | 0 | 沐浴人形 1体 87,800円 ベビーバス、湯温計等 54,014円 | 両親教室において、沐浴人形を追加し、参加者を分散することで、ソーシャルディスタンスが確保され、利用者の感染拡大防止が図られた。 | |
| 113 | がん検診感染対策事業 | 健康推進課 | ①各種がん検診の中止・開始・完全予約制の案内、また各種検診を実施するにあたり、市民及びスタッフが安全・安心に参加できるよう感染予防対策を実施する。 ②消耗品費、印刷製本費、通信運搬費 ③市 | R2.5 | R3.3 | 1,958,712 | 1,958,712 | 0 | 1,958,712 | 0 | 0 | 0 | 0 | 検診開始案内はがき用宛名シール 64,400円＋税＝70,840円 既存受診券変更周知案内スタンパー 12,800円＋税＝14,080円 飛沫防止用仕切り作成費 4,462円 手指消毒用エタノール（5ℓ） 3,350円×14本＋税＝51,590円 ニトリルグローブ1,680円×2＋税＝3,696円 ペーパータオル 3,300円＋税＝3,630円 集団検診中止お知らせシール印刷 50,693円＋税＝55,762円 郵送料（集団検診開始・完全予約制案内はがき） 1,754,652円 | 各種がん検診において、完全予約制とすることで、受診者の分散が図られた。また、検診会場における、コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、感染拡大防止が図られた。 | |
| 114 | 相談窓口の感染防止対策 | 生活支援課 | ①相談窓口における検温実施及び感染防止対策 ②非接触型体温計・消毒液・アルコールタオル・ゴム手袋 ③庁舎内相談窓口 | R2.4 | R3.3 | 50,629 | 50,629 | 0 | 50,629 | 0 | 0 | 0 | 0 | 非接触型体温計・消毒液・アルコールタオル・ゴム手袋 非接触型体温計 6,800円×2個×税＝14,960円 消毒液 本体（500ml） 1,800円×2個×税＝3,960円 詰替（5ℓ） 12,000円×1個×税＝13,200円 アルコールタオル 本体（80枚入） 598円×2個×税＝1,315円 詰替（80枚入24個） 8,859円×1箱×税＝9,745円 ゴム手袋（100枚入） 2,022円×1箱×税＝2,224円 475円×10箱×税＝5,225円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、窓口業務における感染拡大防止が図られた。 | |
| 115 | 公立保育所殺菌用備品購入 | 幼児保育課 | ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オゾン発生機や玩具殺菌庫等の殺菌用備品を整備することで、施設内の空間又は玩具等が殺菌され、職員及び児童等の感染防止が図られる。 ②オゾン発生装置購入費：1,848,000円（つだ4台、東石川3台、那珂湊第一・那珂湊第二・高野いろは各2台） ③公立保育所 | R3.1 | R3.3 | 1,848,000 | 1,848,000 | 0 | 1,848,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | オゾン発生装置購入費：1,848,000円（つだ4台、東石川3台、那珂湊第一・那珂湊第二・高野いろは各2台） | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、公立保育所における感染拡大防止が図られた。 | |
| 116 | 新型コロナウイルス感染症対策「ひたちなかで食べよう」応援補助金 | 商工振興課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響の長期化による社会経済活動への影響を勘案し、市内の飲食店の商業活動の活性化及び消費者へのサービスの向上を図るため、ひたちなか商工会議所が行う市内の事業者を支援する事業に要する経費について、補助金を交付することで、市内の消費喚起を図りながら、飲食店の経営を下支えする。 ②A：事業参加店舗において、1,000円以上利用した顧客に対して行う、1人当たり500円の割引分の補助（1事業所あたり補助上限300千円）／B：事業運営委託費／C：印刷製本費／D：通信運搬費等／E：手数料／F：システム改修費／G：予備費 ③A：500円×600人×200事業所＝60,000千円／B：2,000千円／C：300千円／D：200千円／E：100千円／F：200千円／G：200千円 ④A…市内飲食店舗／B・C・D・E・F・G…ひたちなか商工会議所 | R3.2 | R3.8 | 60,278,215 | 60,278,215 | 0 | 50,400,000 | 0 | 0 | 9,878,215 | 0 | 0 | 商工会議所への補助金 60,278,215円 ○事業参加店舗 200店舗 | コロナ感染症拡大の影響により利用が落ち込んだ飲食店に対し、割引販売への補助をすることで、事業継続への支援が図られた。 |
| 117 | 新型コロナウイルス感染症対策プレミアム付地域商品券発行事業補助金 | 商工振興課 | ①新型コロナウイルスの感染拡大および長期化の影響を受けて、売上の減少が著しい専門店や商店街店舗での利用促進を図りつつ、ひたちなか商工会議所が実施するプレミアム付地域商品券の発行を支援することで、市内の商業活動の活性化及び消費喚起を図る。発行総数を7万セットとし、子育て世帯、高齢者、障害者の方に向けた優先販売枠も設けることで、各世代を支援する。 ②事業費（地域商品券のプレミアム分（20%））及び地域商品券の発行に要する事務経費 ③ひたちなか商工会議所 | R3.1 | R4.2 | 156,329,000 | 156,329,000 | 0 | 144,000,000 | 0 | 0 | 12,329,000 | 0 | 0 | 発行総額840,000千円（70,000セット） 事業費（市負担分）＝136,189,000円 事務経費（市負担分）＝20,140,000円 | 販売数70,000セットを完売した。消費喚起を促し、感染症の影響を大きく受けた市内事業者の事業継続支援が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | |
|-----|----------------------------------|-------|---|----------|----------|------------|-------------|--------------------|------------|------|---------|--|---|--|
| | | | | | | | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | 一般財源 | | | |
| 118 | 宿泊施設及び結婚式場 緊急支援事業補助金 | 観光振興課 | ①市内の宿泊施設及び結婚式場の事業継続を支援する ②市内の売り上げが減少した宿泊施設及び結婚式場に対し、施設の収容人数に応じ、10万円から200万円の範囲において支援金を支給する。（交付件数 宿泊：53施設、結婚式場：3施設） ③市内の宿泊施設及び結婚式場 | R3. 2 | R3. 3 | 31,722,110 | 31,722,110 | 0 | 31,722,110 | 0 | 0 | 31,722,110円（支援対象の 宿泊：53施設、結 0 婚式場：3施設に対し収容人数に応じた支援金を 支給） | コロナ禍により大きく影響を受けた宿泊施設 及び結婚式場に対し、支援金を支給すること で、事業継続の支援が図られた。 | |
| 119 | 運転代行事業者支援金 | 観光振興課 | ①市内運転代行事業者の事業継続を支援する ②市内の運転代行事業者に対し、所有する運転代行業用車両の台数に応じ、支援金を支給する。 1台当たり20千円×46台=9,200千円（交付件数：11事業者） ③市内の運転代行事業者 | R3. 1 | R3. 3 | 920,000 | 920,000 | 0 | 600,000 | 0 | 320,000 | 0 | 1台当たり20千円×46台=9,200千円 | コロナ禍により大きく影響を受けた運転代行 事業者に対し、支援金を支給することで、事 業継続の支援が図られた。 |
| 120 | 公衆トイレ感染症対策 事業 | 観光振興課 | ①公衆トイレの衛生管理を強化する ②公衆トイレ自動水栓化及び洋式化 自動水栓化：3か所、洋式化：1か所 ③市 | R3. 2 | R3. 5 | 1,100,000 | 1,100,000 | 0 | 1,100,000 | 0 | 0 | 0 | 1,100,000円（自動水栓化：3か所、洋式化：1カ 0 所） | コロナ感染症対策に係るトイレの洋式化や手 洗いの自動水栓化等の改修を行ったことで、 利用者間の感染拡大防止が図られた。 |
| 121 | 卸売市場の衛生管理体制 強化事業 | 水産課 | ①卸売市場の感染症対策として、トイレ手洗いの自動水栓化 への改修、荷捌所の人の往来を制限するための間仕切りネッ トの設置や土間塗装により選別エリアを表示することで、衛 生管理体制の強化を実施 ②工事請負費 8,976千円 ③卸売市場 | R3. 3 | R3. 3 | 8,976,000 | 8,976,000 | 0 | 8,976,000 | 0 | 0 | 0 | 工事請負費 8,976千円 0 トイレ手洗い自動水栓化（7箇所） 荷捌き所間仕切りネット設置 選別エリア土間塗装 | コロナ感染症対策に係るトイレ手洗いの自動 水栓化や動線を区分するネットの設置等を行 ったことで、卸売市場における感染拡大防 止が図られた。 |
| 123 | 学校給食の提供日数増 加に伴う食材検査費用 等の支援 | 保健給食課 | ①②新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季休業期間 が短縮されたことで、給食提供日数が増加したことに伴い生 じた給食用食材放射性物質検査費用（No. 71と同一事業） ③ 検査食材費 単独調理場（小学校） 27,237円（8日分） 単独調理場（中学校） 12,122円（5日分） 共同調理場 11,430円（13日分） 検査食材運搬手数料 単独調理場（小学校） 8日×1,164円/H×2.5H/日×1.1=25,608円 単独調理場（中学校） 5日×1,164円/H×2.5H/日×1.1=16,005円 共同調理場 13日×1,164円/H×1H/日×1.1=16,644円 ③市 | R2. 7 | R2. 9 | 109,046 | 109,046 | 0 | 109,046 | 0 | 0 | 0 | 検査食材費 単独調理場（小学校）：27,237円（8日分） 単独調理場（中学校）：12,122円（5日分） 共同調理場：11,430円（13日分） 検査食材運搬手数料 単独調理場（小学校） 8日×1,164円/H×2.5H/日×1.1=25,608円 単独調理場（中学校） 5日×1,164円/H×2.5H/日×1.1=16,005円 共同調理場 13日×1,164円/H×1H/日×1.1=16,644円 | コロナ禍により、給食提供日数が増加したこ とに伴い生じた、調理や食材検査に係る経費 を支援することで、安全・安心な給食の提供 が図られた。 |
| 124 | 宿泊学習等追加経費負 担金 | 指導課 | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る休業要請に伴い 各家庭の経済状況が悪化している中、宿泊学習等の中止に伴 う費用負担を軽減する。 ②宿泊学習中止に伴うキャンセル料 1,000円×168名 ③ひたちなか市大島中学校に負担金として支出し、中学校が 旅行会社にキャンセル料を支払う。 | R3. 1 | R3. 1 | 168,000 | 168,000 | 0 | 168,000 | 0 | 0 | 0 | 宿泊学習中止に伴うキャンセル料 1,000円×168名 | コロナ感染症拡大の影響で、中止となった宿 泊学習に係るキャンセル料を負担すること で、保護者の負担軽減が図られた。 |
| 125 | オンライン授業背景 セット | 指導課 | ①感染防止対策に伴うオンライン授業用のための機材の購入 ②ウェブカメラ 8,140円 オンライン授業背景セット 29,700円 ③市 | R2. 12 | R2. 12 | 37,840 | 37,840 | 0 | 37,840 | 0 | 0 | 0 | ウェブカメラ 8,140円 0 オンライン授業背景セット 29,700円 | コロナ禍において、オンライン学習の重要性 が高まっていることから、WEBカメラ等を整 備することで、遠隔学習の機能強化が図られ た。 |
| 126 | 指導課面談室及び執務 室感染防止対策 | 指導課 | ①来客による面談や執務時に感染防止対策のためのパー ティションや除菌用アルコール等購入 ②消耗品費 ③市 | R2. 12 | R3. 3 | 15,720 | 15,720 | 0 | 15,720 | 0 | 0 | 0 | 卓上パーティション 5,060円（内税） アルコール除菌シート 228円（内税）×4個=912円 除菌アルコールスプレー 698円（内税）×1個=698円 アルコールハンドジェル 598円（内税）×13本=7,774円 ペーパータオル 138円（内税）×2個=276円 アルコールハンドジェル 500円（内税）×2本=1,000円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行った ことで、面談等の場面における感染拡大防止 が図られた。 |
| 127 | 教育研究所面談室及び 執務室等感染防止対策 | 指導課 | ①来客による面談や執務時の感染防止対策のためのパー ティションや除菌用アルコール等購入 ②消耗品 24,000円 ③市 | R2. 12 | R3. 3 | 23,324 | 23,324 | 0 | 23,324 | 0 | 0 | 0 | パーティション 2個、アルコール除菌シート 10個、アルコールハンドジェル 2本 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行った ことで、面談等の場面における感染拡大防止 が図られた。 |
| 128 | 成人祝特別給付金等支 給事業 | 青少年課 | ①新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、成人の集いを中止 することにより生ずる対象者の着付けや記念写真撮影等の キャンセル料や感染症予防に努めながら成人を祝う経費 ②令和2年4月2日から令和3年4月1日までの間に満20歳に達す る者で、下記のA、Bのどちらかを満たす者（※ただし他市 町村の同様の祝金等を申請・受領していない者） A）令和3年1月1日時点で本市の住民基本台帳に記録されて いる者 B）平成28年3月1日から令和2年12月31日までの 間に本市から他市町村へ転出した者のうち、家族等が令和3 年1月1日時点で本市の住民基本台帳に記録されている者 ③新成人 | R3. 1 | R4. 1 | 36,050,293 | 36,050,293 | 0 | 32,069,315 | 0 | 0 | 3,980,978 | 祝金：20,000円×1,730人 =34,600,000円 入園券引換券利用分 545,910円 消耗品費 50,755円 印刷製本費 封筒・引換券・パンフレット印刷 193,160円 通信運搬費 660,468円 | コロナ感染症拡大の影響により、成人の集い の中止を余儀なくされた。中止によるキャン セル料の負担や集いの場を失った新成人へお 祝いを支給することで、新しい生活への支援 が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | | |
|-----|-------------------------|--------|--|----------|----------|------------|-------------|--------------------|------------|------|------|-------|----------|--|---|
| | | | | | | | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | 一般財源 | | | | |
| 129 | 那珂湊支所の感染防止対策 | 那珂湊支所 | ①那珂湊支所において新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることを目的として、アルコール除菌剤等を購入する。 ②消耗品費 ③那珂湊支所 | R2.4 | R3.3 | 147,682 | 147,682 | 0 | 147,682 | 0 | 0 | 0 | 0 | アルコール除菌剤180 2本×15,000円+税=33,000円 アルコール除菌剤170 6本× 7,210円+税=47,586円 指先消毒液(本体) 8本× 598円(内税) = 4,784円 指先消毒液(付替) 12本× 498円(内税) = 5,976円 飛沫防止用ビニールシート W=13.3m H=1.85m 133×22円(内税)=2,926円 消毒用ゴム手袋100枚入 2箱×898円(内税)=1,796円 消毒用ビニール手袋100枚入 2箱×980円(内税)=1,960円 便座除菌クリーナーディスペンサー 13個×2,780円+税=39,754円 アルコールディスペンサー 1個×9,000円+税 =9,900円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、窓口業務等における感染拡大防止が図られた。 |
| 130 | 那珂湊支所感染症対策用備品整備事業 | 那珂湊支所 | ①那珂湊支所において新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることを目的として、来庁者に検温を行うためサーマルカメラを設置する。 ②備品購入費 ③那珂湊支所 | R3.2 | R3.3 | 112,750 | 112,750 | 0 | 112,750 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1台×102,500円+税=112,750円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、庁舎内における感染拡大防止が図られた。 |
| 131 | 図書館感染症対策整備 | 中央図書館 | ①図書館における感染防止のため、来館者用の自動手指消毒器、その他消耗品を購入するとともに飛沫防止用ビニールカーテンを設置する。 ②消毒用品等の購入 ③図書館 | R2.6 | R3.3 | 447,970 | 447,970 | 0 | 447,970 | 0 | 0 | 0 | 0 | 自動手指消毒器 10台 139,392円 キーボードカバー 6個 10,518円 使い捨てゴム手袋 55箱 50,875円 除菌用アルコール15kg 6缶 42,900円 除菌用アルコール5L 10本 27,500円 OAクリーナー本体 4個 3,632円 OAクリーナー詰替 16袋 11,112円 便座クリーナー用ディスペンサー本体 16台 59,840円 便座クリーナー詰替 8本 33,363円 図書除菌機用消臭抗菌剤 4個 10,428円 飛沫防止用ビニールカーテン (一般・児童カウンター2箇所) 58,410円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、図書館における感染拡大防止が図られた。 |
| 132 | 図書館感染症対策用備品整備 | 中央図書館 | ①図書館における感染防止のため、来館者用のサーマルカメラを設置する。 ②サーマルカメラ 3台 338,250円 ③図書館 | R3.2 | R3.3 | 338,250 | 338,250 | 0 | 338,250 | 0 | 0 | 0 | 0 | サーマルカメラ 3台 338,250円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、図書館における感染拡大防止が図られた。 |
| 133 | 窓口等での相談業務等における感染防止対策 | 環境政策課 | ①来庁者等の感染防止対策のため、アクリル板等を購入する。 ②消耗品費 ③環境保全課 | R3.1 | R3.2 | 49,016 | 49,016 | 0 | 49,016 | 0 | 0 | 0 | 0 | 飛沫対策アクリル板(デスクスクリーン) 1個(4枚入り)×39,800円+税=43,780円 非接触式体温計 1個×4,760円+税=5,236円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、窓口業務等における感染拡大防止が図られた。 |
| 134 | コロナ感染防止対策事業 | 廃棄物対策課 | ①施設における感染防止対策のため消毒液等を購入する。 ②消耗品費 ③廃棄物対策課 窓口 資源リサイクルセンター | R2.4 | R3.3 | 129,302 | 129,302 | 0 | 129,302 | 0 | 0 | 0 | 0 | ニトリル手袋 100枚入×15 22,078円 ナイロン手袋 12双組×4 7,392円 綿手袋 12双組×2 990円 マスク 60枚×15 18,150円 フェイスガード×8 7,984円 フェイスガード用フェイスシールド×4 2,420円 フェイスガードクリアバイザー×1 547円 ハンドソープ×10 3,992円 透明シート(窓口飛沫対策用)×10 800円 アルコール消毒液・ジェル×13 11,711円 アクリルスタンド×4 43,780円 体温計×2 9,458円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、窓口業務等における感染拡大防止が図られた。 |
| 135 | 勤労者総合福祉センター感染症対策用備品整備事業 | 商工振興課 | ①勤労者総合福祉センターにおいて新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることを目的として、来庁者に検温を行うためサーマルカメラを設置する。 ②備品購入費 1台 113千円 ③勤労者総合福祉センター | R3.2 | R3.3 | 112,750 | 112,750 | 0 | 112,750 | 0 | 0 | 0 | 0 | 備品購入費 1台 112,750円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、勤労者総合福祉センターにおける感染拡大防止が図られた。 |
| 136 | 社会福祉施設感染症対策用備品整備事業 | 地域福祉課 | ①社会福祉施設において新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることを目的として、来館者に検温を行うためサーマルカメラを設置する。 ②備品購入費 ③102,500円×3台+税=338,250円 ④総合福祉センター、那珂湊総合福祉センター、金上ふれあいセンター | R3.2 | R3.3 | 338,250 | 338,250 | 0 | 338,250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 備品購入費 102,500円×3台+税=338,250円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、社会福祉施設における感染拡大防止が図られた。 |
| 137 | 成人の集い中止に伴う記念品送付事業 | 青少年課 | ①感染急拡大に伴い、やむを得ず直前で中止となった成人の集い会場配布予定だった記念品を参加予定者へ送付するための郵送費用 ②通信運搬費 ③成人の集い参加予定者1,805名 | R3.1 | R3.1 | 647,388 | 647,388 | 0 | 647,388 | 0 | 0 | 0 | 0 | 郵送代 1個301円×1,773個=533,673円 63円×1,805通=113,715円 | コロナ感染症拡大の影響により、成人の集いの中止を余儀なくされた。配布予定であった記念品を送付することで、新成人を応援することができた。 |
| 138 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 保健給食課 | ①② (1)感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 教育活動を継続するため、感染症対策等を徹底する取組、教職員の研修を支援する取組及び児童生徒の学びの保障をすための取組に必要な経費を補助する。 ②消耗品費 備品購入費 ③小学校・中学校 | R3.2 | R4.3 | 26,828,933 | 26,828,933 | 13,412,000 | 12,670,272 | 0 | 0 | 0 | 746,661 | (1) 消耗品費 ・総事業費 4,667千円/小学校20校、中学校9校 ・補助対象事業費 4,667千円 ・国費 4,667千円×1/2=2,334千円 ・臨時交付金 4,667千円-2,334千円=2,332千円 (2) 備品購入費 ・総事業費 22,163千円/小学校17校、中学校7校 ・補助対象事業費 22,163千円 ・国費 22,162千円×1/2=11,081千円 ・臨時交付金22,162千円-11,081千円=11,080千円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、小学校、中学校、幼稚園における感染拡大防止が図られた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 | 補助対象 事業費 | | | | | 事業の実績 | 効果の検証・評価 | |
|-----|--------------------|-------|--|----------|----------|-----------|-------------|--------------------|-----------|------|---------|-------|--|---|
| | | | | | | | 国庫補助額 | うち 臨時交付金 充当額 | 起債額 | 県補助金 | 一般財源 | | | |
| 139 | 幼児健診の再開に対する感染症予防対策 | 健康推進課 | ①R2年3月から休止していた幼児集団健康診査を再開するにあたり、市民及びスタッフが安全・安心に参加できるよう感染症予防対策を講じて実施する。 ②消耗品費、備品購入費 ③市 | R2.7 | R3.3 | 325,174 | 325,174 | 0 | 325,174 | 0 | 0 | 0 | ・消毒剤（除菌ワイブ、グローブ等） 93,514円 ・非接触者用体温計 12,100円 ・健診用身長体重計 136,400円 ・ベビースケール 83,160円 | コロナ感染症対策に係る物品を整備することで、幼児集団健康診査における感染拡大防止が図られ、検診を再開することができた。 |
| 140 | 観光イベント開催に係る感染症予防対策 | 観光振興課 | ①市内イベント等における感染予防のための消耗品等の購入 ②消耗品購入費 87,780円 （消毒用アルコール1L20本、非接触体温計5機） ③イベント会場 | R2.7 | R3.3 | 87,780 | 87,780 | 0 | 87,780 | 0 | 0 | 0 | 消耗品購入費 87,780円 （消毒用アルコール1L20本、非接触体温計5機） | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、観光イベントにおける感染拡大防止が図られた。 |
| 141 | 障害者総合支援事業費補助金 | 障害福祉課 | ①新型コロナウイルス感染症拡大時における特別支援学校等の臨時休業に伴い利用が増加した放課後等デイサービスへの支援 ②該当期間中の放課後等デイサービスへの支援費 支出総額 157,090円 県費3/4 117,000円、臨時交付金 40,090円 ③市内の放課後等デイサービス13事業所 | R2.4 | R3.3 | 157,090 | 157,090 | 0 | 40,090 | 0 | 117,000 | 0 | 支出総額 157,090円 県費3/4 117,000円、臨時交付金 40,090円 | 特別支援学校等の臨時休業に伴い、利用者が増加した放課後等デイサービスへの支援を行うことで、事業所の負担軽減が図られた。 |
| 142 | 市庁舎における感染症対策事業 | 資産経営課 | ①市庁舎における感染防止対策のためのパーティションや換気対応のための備品の購入 ②備品購入 ③市 | R3.1 | R3.3 | 4,062,850 | 4,062,850 | 0 | 4,062,751 | 0 | 0 | 99 | アクリルパーテーション① 5,478円×2枚=10,956円 アクリルパーテーション② 7,634円×6枚=45,804円 アクリルパーテーション③ 11,737円×120枚=1,408,440円 アクリルパーテーション④ 11,000円×30枚=330,000円 アクリルパーテーション⑤ 19,800円×1枚=19,800円 サーキュレーター 7,947.5円×60台=476,850円 ハイブリットファン 31,185円×30台=935,550円 サーキュレーター・ハイブリットファン搬入費 17,600円×1式=17,600円 石油ファンヒーター 54,780円×5台=273,900円 体表面温度測定対応顔認証リーダー 108,790円×5台=543,950円 | コロナ感染症対策に係る物品の整備を行ったことで、庁舎内における感染拡大防止が図られた。 |